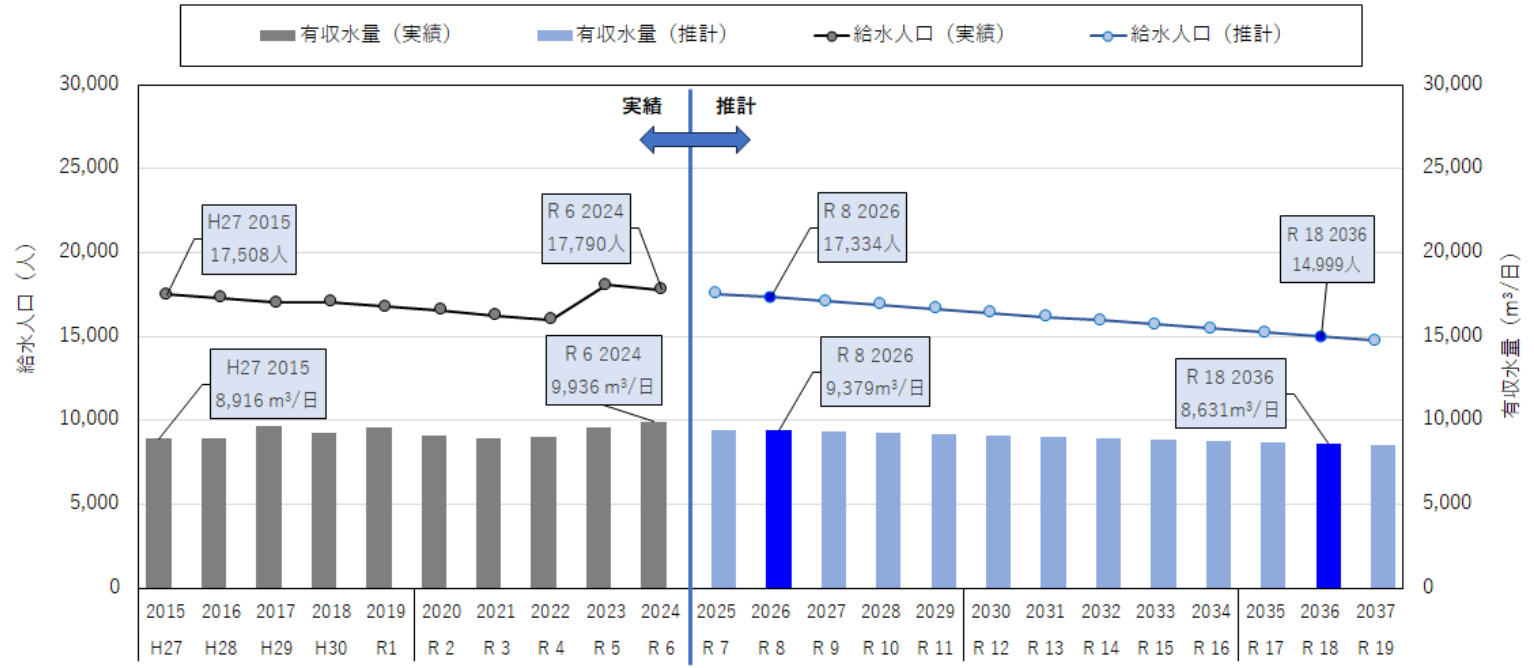
湯河原町水道事業の現況

第1回　湯河原町上下水道経営審議会

湯河原町上下水道課

1.水道事業の現状
1.1 給水人口・有収水量の予測

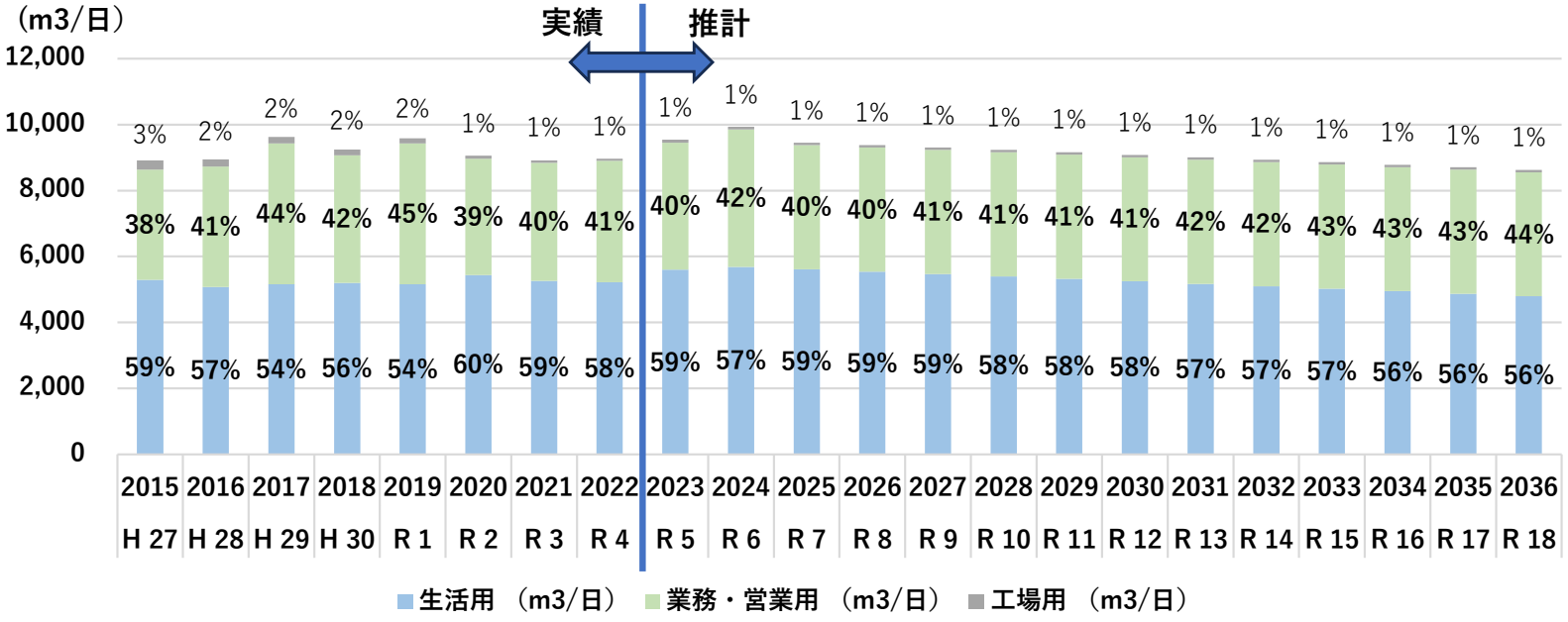
- 湯河原町水道事業の給水人口は、年々減少し、令和6（2024）年度では17,790人となっています。この時、一日平均有収水量は9,936㎥/日となっています。
- 「国立社会保障・人口問題研究所」が推計した行政区域内人口と過去10年間の湯河原町の実績を基に、将来の給水人口・水需要を推計しました。
- 推計結果として、給水人口は全国的な人口減少と同様な傾向を示し、10年後の令和18（2036）年度には約15,000人となる見込みです。



図表1　給水人口と有収水量の推移

1. 水道事業の現状
1.1 給水人口・有収水量の予測

- 有収水量は人口減少の影響を受け、令和18（2036）年度には約8,600 ㎥/日となる見込みです。
- 本町の有収水量は、宿泊施設等の業務・営業用水量の占める割合が40%以上とこれらに依存している傾向にあります。今回推計はこのような結果となりましたが、観光業等の経済の動向に大きく影響され、急激な減少が生じるおそれがあります。
- 以上のことから、将来の料金収入が減少し、厳しい経営状況となることが懸念されます。



図表2　有収水量の推移と内訳

1.水道事業の現状
1.2 施設・設備

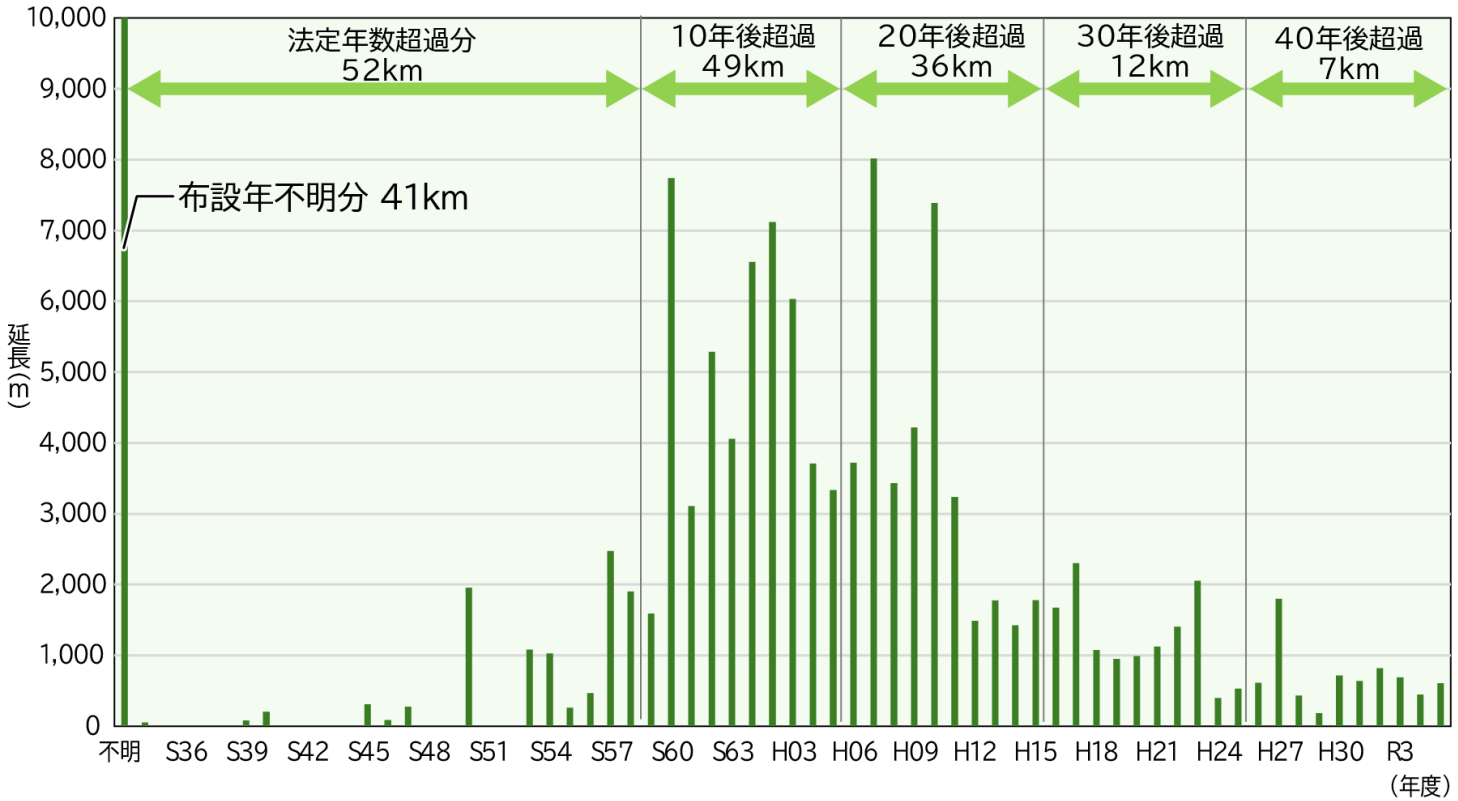
- 本町水道事業は、7つの水源、4つの浄水場、29の配水池を有しています。
- 第2新崎川水源は、頻繁に土石流により埋没し、その度に取水停止が生じ、重機により復旧している状況です。
- また、水質面では浄水で水質基準値を超過した事例はありませんが、水質基準値の50%を超過する項目があるため、水道水の安全性を引き続き高める必要があります。



図表3　水道施設位置図

1. 水道事業の現状
1.3 管路

- 湯河原町の管路延長は約156 kmあります。
- もっとも古く布設した管路は昭和34（1959）年度で、布設から40年以上経過した管路は約11 km、布設年不明管約41 kmを含めると約52 kmあります。
- さらに布設から30年以上経過した管路は約49 kmあり、今後、更に老朽化が進行していきます。
- 管路の老朽化に加え、地震に強い管路（耐震管）への更新が求められていることから、これらの更新に多額の費用が必要となります。



図表4　管路の布設状況

1. 水道事業の現状
1.4 経営面

（1）企業債残高

- 図表5に本町の給水収益と企業債残高の推移を示します。
- 企業債残高は、令和7（2025）年度までの過去6年平均で約18億円程度です。これに対し、給水収益は過去6年平均で約3.9億円程度であり、企業債残高の約2割超となっています。
- 企業債利息などの負担が経営を圧迫しないように、企業債残高の水準を管理していくことが必要となります

（2）人材

- 図表6に本町の水道職員数の推移を示します。過去5年間で、職員は減少しており、計6人です。
- 今後、更新等の事業量増加を見据えると1人当たりの業務量が増加すると考えられます。また、施設の管理運営上においても、安全な水道水を安定して供給していくために人材の確保が必要です。
- これらに対応するため、人材の確保を進めるとともに、内外部の研修参加等による職員の育成を進める必要があります。

図表5　給水収益と企業債残高

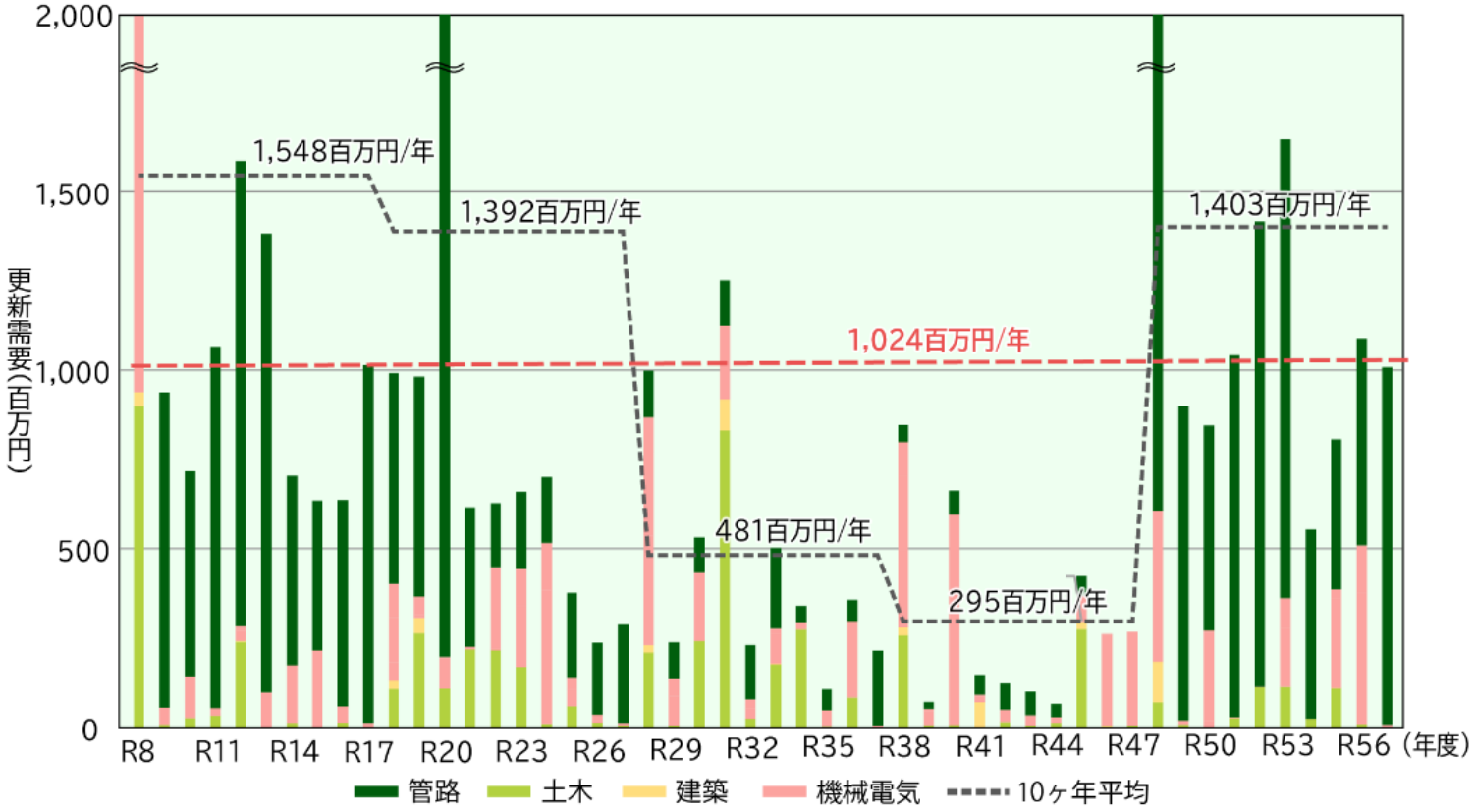
項目	令和2年度（2020）	令和3年度（2021）	令和4年度（2022）	令和5年度（2023）	令和6年度（2024）	令和7年度（2025）	6年平均
給水収益（百万円）	378	372	377	401	415	419	394
企業債残高（百万円）	2,120	1,952	1,795	1,663	1,535	1,418	1,747

図表6　職員数の推移

項目	令和2年度（2020）	令和3年度（2021）	令和4年度（2022）	令和5年度（2023）	令和6年度（2024）	令和7年度（2025）
特別職（人）	1	1	1	1	0	0
一般行政職（人）	6	7	7	7	7	6

1. 水道事業の現状
1.5 更新需要

- 本町水道事業の現有資産（土木、建築、機械電気、管路）を法定耐用年数で更新した場合の更新需要を図表7に示します。
- 令和8（2026）年度から令和57（2075）年度までの総額は約512億円で、年平均は約10.2億円が必要になります。これは過去5年平均の建設改良費（約1.0億円）の約10倍に相当する費用になります。
- 今後の水需要の低下に伴い、給水収益も減少することから、建設改良費確保の見通しが不透明な他、現状の職員数では対応できない事業量であることも想定されます。

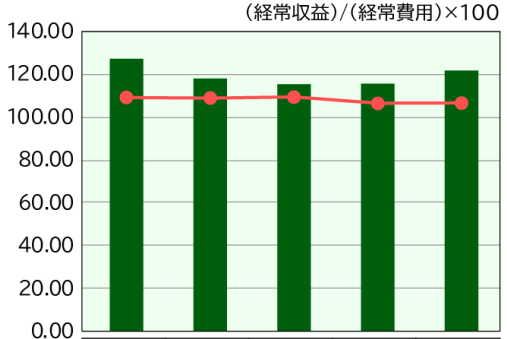


図表7　更新需要

1. 水道事業の現状
1.5 経営指標

❶ 経常収支比率(%)　【108.24】

(経常収益)/(経常費用)×100

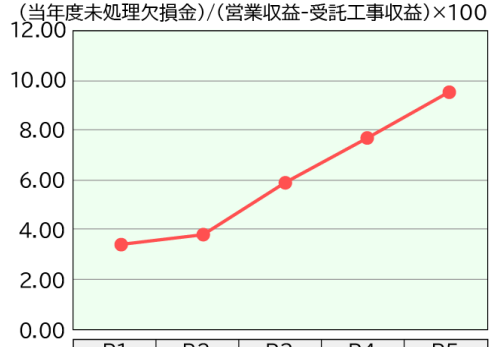


	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	126.57	117.40	114.73	115.06	121.19
平均値	108.61	108.35	108.84	105.92	106.01

- 経常収支比率は、給水収益等で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。
- 湯河原町は、一般会計からの繰り入れもなく給水収益のみで100%以上を確保し黒字となっています。

❷ 累積欠損金比率(%)　【1.50】

(当年度未処理欠損金)/(営業収益-受託工事収益)×100



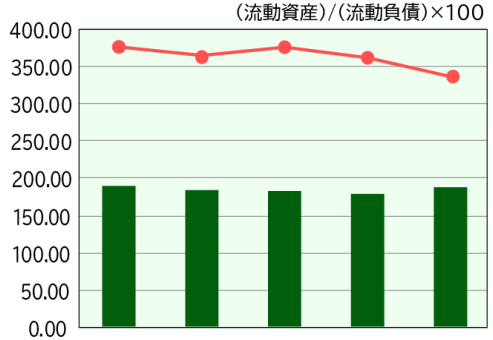
	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	3.59	3.98	6.02	7.78	9.59

- 累積欠損金比率は、営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと）の状況を表す指標です。
- 湯河原町は、欠損金は生じておらず0%となっています。

1. 水道事業の現状
1.5 経営指標

❸ 流動比率(%)　【243.36】

(流動資産)/(流動負債)×100

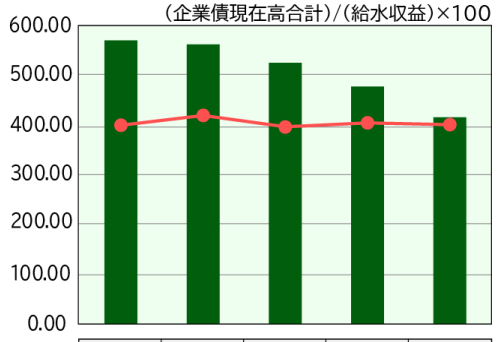


	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	190.43	184.69	183.57	179.77	188.90
平均値	379.08	367.55	378.56	364.46	338.89

- 流動比率は、短期的な債務に対する支払能力を表す指標で、１年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す指標です。
- 湯河原町は、100%以上となっており、債務に対して現金等を保有している状況にあります。

❹ 企業債残高対給水収益比率(%)　【265.93】

(企業債現在高合計)/(給水収益)×100



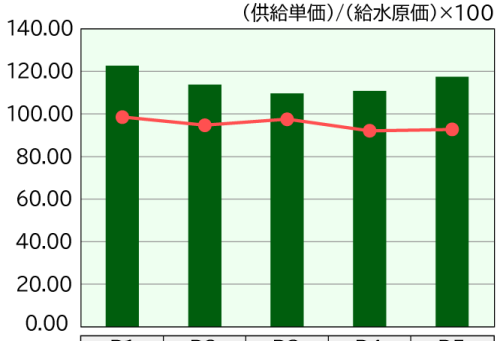
	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	569.41	561.47	524.44	476.76	414.81
平均値	398.98	418.68	395.68	403.72	400.21

- 企業債残高対給水収益比率は、給水収益に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を表す指標です。
- 湯河原町では、低下傾向にあります。

1. 水道事業の現状
1.5 経営指標

⑤ 料金回収率(%) 【97.82】

(供給単価)/(給水原価)×100

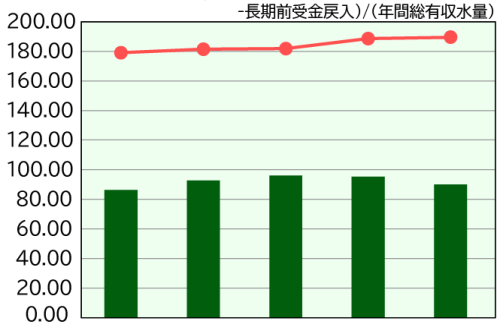


	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	122.74	113.80	109.78	110.88	117.51
平均値	98.64	94.78	97.59	92.17	92.83

- 料金回収率は、給水に係る費用がどの程度給水収益で賄えているかを表した指標です。
- 料金水準等の評価に用いる指標のひとつです。
- 湯河原町は、100%以上となっています。

⑥ 給水原価(円) 【177.56】

(経常費用-受託工事費-材料及び不用品売却原価-付帯事業費-長期前受金戻入)/(年間総有収水量)



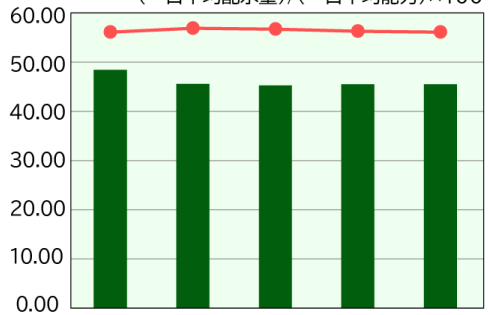
	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	86.07	92.49	95.77	95.02	89.88
平均値	178.92	181.30	181.71	188.51	189.43

- 給水原価は、有収水量１㎥あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標です。
- 湯河原町は、100円以下と類似団体に比べ、低額となっています。

1. 水道事業の現状
1.5 経営指標

❼ 施設利用率(%) 【59.81】

(一日平均配水量)/(一日平均能力)×100

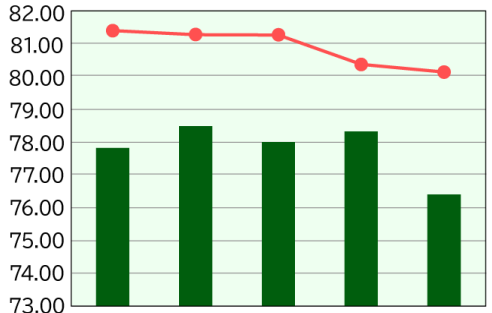


	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	47.57	44.75	44.44	44.68	44.73
平均値	55.14	55.89	55.72	55.31	55.14

- 施設利用率は、一日あたりの配水能力に対する一日平均配水量の割合で、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。
- 湯河原町は、45%度で、類似団体平均値と比較して、効率性は低い状態です。

❽ 有収率(%) 【89.42】

(年間総有収水量)/(年間総配水量)×100



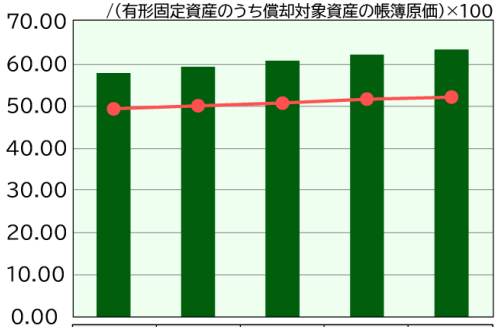
	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	77.82	78.48	78.00	78.32	76.40
平均値	81.39	81.27	81.26	80.36	80.13

- 有収率は、施設の稼動が収益につながっているかを判断する指標です。
- 湯河原町は、80%以下で推移しており、漏水やメーター不感など原因を解消する必要があります。

1. 水道事業の現状
1.5 経営指標

❶ 有形固定資産減価償却率(%)　【52.02】

(有形固定資産減価償却累計額)
/(有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価)×100

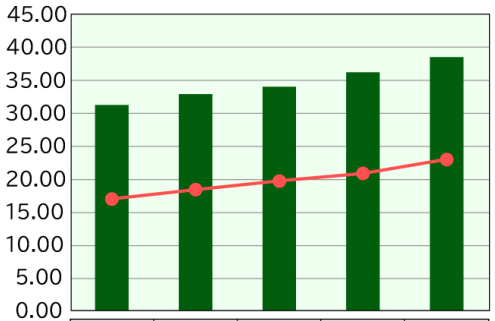


	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	58.44	59.95	61.43	62.87	64.08
平均値	49.92	50.63	51.29	52.20	52.70

- 有形固定資産減価償却率は、資産の老朽化度合を示す指標です。
- 湯河原町は、60%程度から徐々に増加しており、老朽化が進行しています。

❷ 管路経年化率(%)　【25.37】

(法定耐用年数を経過した管路延長)/(管路延長)×100



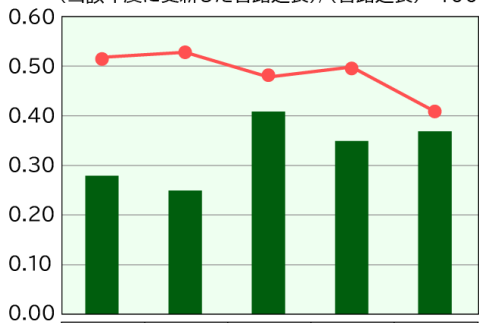
	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	31.06	32.71	33.85	36.03	38.32
平均値	16.88	18.28	19.61	20.73	22.86

- 管路経年化率は、法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化度合を示しています。
- 湯河原町は、30%～40%程度で徐々に増加しており、老朽化が進行しています。

1. 水道事業の現状
1.5 経営指標

❸ 管路更新率(%)　【0.62】

(当該年度に更新した管路延長)/(管路延長)×100



	R1	R2	R3	R4	R5
湯河原町	0.28	0.25	0.41	0.35	0.37
平均値	0.52	0.53	0.48	0.50	0.41

- 管路更新率は、当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標です。
- 湯河原町は、増加傾向にありますが、管路経年化率も増加していることから、より一層、管路の更新を促進させる必要があります。